

織月

東京織月会だより

人吉中学校・人吉高等女学校・人吉高等学校同窓会
Vol. 27 2022 (令和4) 年6月



新しくなった球磨川下り HASSENBA。
おしゃれなカフェのパンケーキも話題。



コロナ禍を乗り越え再会を願う

東京織月会副会長 仲田秀子 (人高24回)

東京織月会の運営を私たち人高24回生が引き継いでから、早6年となりました。

3年間は会員の皆様のご協力のもと何とか同窓会を開催することができましたが、一昨年から新型コロナウイルスの感染拡大のため2年連続の中止とさせていただきます。感染拡大防止と会員の皆様の健康を第一に考え、断腸の思いでの決断でした。

コロナ流行の前は、回を重ねるごとに会員の皆様のお名前とお顔が一致するようになり、一年ぶりの再会で故郷のこと、同窓生のこと、先輩後輩の今を語り合うことができました。

また、運営に携わる中で私たち24回生4名は榎の木合唱団(沖松昌朗団長・人高11回生)に入団し、前原都先生(人高10回生)のご指導の下、諸先輩方とともに楽しく交流を深めながら練習に励み、同窓会で成果を発表することもできました。今となつては自由に交流

できていた日々が懐かしうかけがえのないものと感じられます。

以前、私が勤務していた東京都保健所では、未知の感染症が流行したら収束まで3〜4年かかるだろうとつぶやかれていました。平成6年の法改正により保健所が統廃合され大幅な人員削減等が行われ、この人員で対応できるのか等、職員間で不安を抱いたことが現実になりました。

在職中、新感染症はSARS(サーズ)のみで感染拡大はありませんでしたが、感染症の対応は、人権に配慮しながら根掘り葉掘り、しかも迅速に聞き取りをやらなければいけなかったり、症状や細菌等がなくなった場合も追跡調査を行わなければいけなかったりで、受ける側も行う側も忍耐と時間を要する作業だったことを思い出します。今回の新型コロナウイルス感染症では、これまでの予想を超えた規模と速さで世界中に感染が拡大しました。

この経験で基本的な感染予防で自分や周囲を守り、ワクチン接種で社会的防衛の役割を果たすことが大変重要であることを改めて感じました。また、ステイホームで初めて体感した足腰の筋力低下は、高齢の私にとって日常生活の中で意識して身体を動かすことの大切さを教えてくれました。

最近、第7波に突入するのではないかと言われていますが、今年こそ是非皆様と元氣にお会いできることを心より願っております。役員一同、総会開催に向けて準備を進めてまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、同封しました令和4年の会費納入及び賛助金のご協力をお願い致します。東京織月会の皆様への会費や賛助金により活動を運営しております。厳しい社会状況ではありますが、何卒ご理解をいただきご協力のほどお願い申し上げます。

東京で味わう人吉球磨 ～故郷ゆかりのお店紹介～

たびかさなる緊急事態宣言などにより厳しい対応を迫られてきた飲食店。そこで頑張っているお店が多数あります。長引くコロナ禍で帰省もままならない状況が続く今、東京にいながらにして楽しめる人吉球磨ゆかりのお店をご紹介します。

若どり

東京都千代田区丸の内1-6-4 丸の内オアゾ6F

東京駅の近くで“球磨焼酎”が呑める 和食・水炊きのお店「若どり」

カウンター奥の棚にずらりと並んだ見覚えのある焼酎のボトル群。「極楽」「球磨の泉」「武者返し」「六調子」「川辺」「大和一」「あさぎりの花」「鳥飼」など銘酒がそろっています。東京の真ん中でなぜ、こんなにも球磨焼酎の品ぞろえが豊富なのか？ 店長の荒井淳一さんが“大の球磨焼酎ファン”だからなのです。

店内では、樽熟成、常圧蒸留、減圧蒸留の焼酎、約100銘柄をグラス一杯550円から提供。その焼酎を盛り立てる料理のラインナップも充実。鶏がらをじっくり煮込んだ水炊きを筆頭に、新鮮な馬刺、酢味噌で味わう懐かしい一文字グルグル、分厚く切った辛子レンコン、とり天、サラダちくわ天など熊本の郷土料理が楽しめます。杯が進むにつれて飛び交う球磨弁。居心地の良い雰囲気について飲み過ぎてしまうかもしれません。

「若どり」では、今年5月9日を「59（ごく）らくの日」として、林酒造場の「極楽」が当日限定一杯100円イベントが開催されました。昨年11月には、球磨焼酎の蔵元がおすすめする新酒の試飲会も行われ、大盛況でした。今回のイベントの際は、東京織月会のフェイスブックでお知らせしようと思います。 清藤弘文（人高33回）記



極楽の日（5月9日）は熊本県人で大賑わい



辛さが刺激的な辛子レンコン
天草から届くお刺身も美味

ものがたり酒店

東京都港区芝2丁目16-3

球磨焼酎案内人・立山義晴さんを訪ねて

ものがたり酒店は、都営三田線の芝公園駅より徒歩10分にある酒販売店です。店舗の1階と2階は焼酎の展示販売を行っており、取扱い焼酎の約9割が球磨焼酎で、27醸造所のうち20蔵50銘柄を取り扱っています。

球磨焼酎案内人の立山義晴氏（人高23回）によりまずと、お店のコンセプトは東京圏で取り扱っていない希少銘柄を蔵元と直接交渉しお取り寄せしていることだそうです。

記者・佐々木は焼酎のコレクターでもあり「奥球磨（豊永酒造）」、「寿福絹子（寿福酒造場）」、「熟香拔群（拔群酒造）」の3点を購入し、板垣東京織月会会長も2点購入されていました。

立山義晴氏は、大手アパレルメーカーの代表取締役を5年務め、定年後、店主の三浦氏に誘われ畑違いの酒類販売に携わるようになったそうです。人吉の立山商店のご長男であり（弟さんが跡継ぎ）、地元の人脈を生かして仕入を拡大して、希少蔵の活性化を目的に知られていない銘柄と品揃え関東圏第一を自負するお店となっています。 佐々木政輝（人高24回）記



中央が球磨焼酎案内人
立山義晴さん



50銘柄を揃える球磨焼酎

三芳八

東京都港区新橋2丁目20-15 新橋駅前ビル1号館 B1F

人吉球磨ゆかりの「三芳八」を訪ねてみた

以前から、コロナ禍で大変苦労されている故郷ゆかりのお店を、東京織月会で紹介してはどうだろうかとの提案があった。その皮切りに、久しぶりの役員会終了後、新橋駅前ビル1号館の居酒屋「三芳八」(みよしや)を訪ねることになった。新橋駅前ビルは長い歴史を誇る全国屈指の飲み屋街であり、サラリーマンにとってはまさにメッカ、レトロな昭和の雰囲気が色濃く立ち込め、お洒落な店はほとんどない場所だ。

「烏しげ 三芳八」と書かれた大きな提灯と元気な経営者の中村さん(旧姓 赤池)が出迎えてくれた。予約席へ案内されるや否や、「今夜は私もお客だから一緒に飲みましょ!」と、ママさんがレモンハイのジョッキを片手に「カンパ〜イ!」と音頭を取られた。

間もなく運ばれてきたビールには、「神泡は当店どうぞ」の文字が鮮やかに浮かんでいた。この粋な計らいに、女性陣は「インスタ映えする!」とシャッターを押した。続いて球磨焼酎の「鳥飼」をいただく。「こりゃ、

えらい上品か! フルーティーでスイスイ行くばい」とか、「やっぱ、普通の球磨焼酎のほうが俺にゃ合うぐたんな」などと、勝手な評が続いた。

夫婦二人で築かれた「三芳八」にはその優しさが店内いっばいに溢れていた。客に優しい、財布にも優しい「三芳八」は小生一押しの名店である。取材参加者6人の誰もが「土曜は8時閉店」と知って残念至極の顔を隠しきれなかったことが、何よりもそれを雄弁に物語っていた。

沖松昌朗(人高11回)記



レトロな雰囲気の居酒屋「三芳八」



元氣なママさんは人吉出身の旧姓・赤池さん

TaYoRi

東京都品川区東五反田5-22-25

五反田でふるさとを味わう 和風ダイニングTaYoRi (タヨリ)

JR五反田駅から徒歩五分。駅前の飲食街からちょっと離れた隠れ家的な佇まいの和風ダイニングTaYoRiは、今年7月で8年目を迎えます。オーナーの福田聖輝さんは、球磨郡錦町のご出身。店名は、2018年まで副社長を務められた日本郵便(便り)からつけられたそうです。

福田さんと店長が、直接蔵元を回って仕入れたという球磨焼酎が豊富に取り揃えられています。なかでも「豊永蔵」は「減圧」「常圧」の2種類から選べ、風味とその味わいの違いも楽しませてくれます。

焼酎に合うおつまみといえば、辛子レンコンですが、こちらでは辛さを抑えた自家製辛子味噌で作っており、揚げたての触感ほくほくして、つつい箸が進みます。また薄皮で具だくさんの餃子は、専門店を超える旨さです。「球磨(肥後)のいっちょ残し」も遠慮なく消えてしまいます。注文を受けてからさばいて揚げるアジフライ

イは特大で、衣の中にはふっくらとした身がぎっしり。合わせる焼酎は、「減圧」か「常圧」か悩むところ。

焼酎は、一杯500円から600円、おつまみは400円から700円台のお手頃価格が充実しています。久しぶりに故郷の味を楽しみたい先輩たちにお勧めです。

清藤弘文(人高33回)記



五反田駅から徒歩5分で人吉球磨を楽しめる



サクサクのアジフライ 具だくさんの後引く餃子 自家製辛子レンコン

《令和4(2022)年

東京織月会総会について》

コロナ禍により中止しておりました
東京織月会総会・懇親会を3年ぶり
に開催する方向で準備を進めており
ます。

＊日時 令和4(2022)年

10月8日(土曜)

11時30分より

＊場所 東天紅上野店

(前回と同じ会場です)

今後の感染状況によっては、変更も
ありますので、7月下旬に正式決
定し、改めて詳細のご案内を差し上
げます。

会報原稿募集

会報「織月」は10月の発行をめざして準備を進めております。コロナ禍
での新しい日常の様子や、ふるさとへの思いなど、ぜひ原稿にしてお寄せく
ださい。また、一堂に会することが難しい中、近況報告掲示板のようなもの
も考えています。短い文章でけっこうですので、近況を事務局までお知らせ
ください。

なお、今回お届けした故郷ゆかりのお店について、より詳しい特集記事の
掲載を予定しています。ほかにもいいお店をご存じの方はぜひ、レポート記
事をお願いします。情報提供のみでもかまいません。事務局までご一報くだ
さい。

人吉中学校・人吉高等女学校・人吉高等学校同窓会

東京織月会事務局

〒225-0023 横浜市青葉区大場町 156-69

TEL 090-6654-9729

FAX 045-877-5357

↓ ホームページもご覧ください ↓

<http://www.tokyo-sengetsukai.com>

【年会費・賛助金のお願い】

東京織月会は皆様の年会費と賛助金で運
営しております。

会の継続・充実のために一人でも多くの
方々のご理解ご協力をお願いします。